

第19号

田尻

発行日 2022年11月30日
 発行 田尻学区コミュニティ推進会
 田尻地区社会福祉協議会
 発行責任者 木下禎浩
 編集 広報部
 事務局 田尻交流センター
 電話・FAX (42)1552

田尻川河川敷清掃

地域みんなの協力で清流によみがえる

晴天に恵まれた10月2日、例年通り「田尻川河川敷清掃」が実施された。

昨年同様、新型コロナウイルス感染症防止を図りながら田尻川の上流域から下流域へと、早朝から各支部・町内会の皆さんの参加のもと川の清掃を行った。

猛暑で伸びた川底の雑草を上げるのが大変だったが、おかげさまで、川がきれいによみがえった。参加した皆さんが怪我もなく無事終了したことに感謝したい。

なお、益々参加者の高齢化が進んでおり、来年は次世代の方の参加を望みたい。



田尻なかしま公園脇



上田尻いずみ会地区



新上合地区



田尻てらまえ公園脇

コミュニティくさゼロ写真展

10月17日(月)～10月28日(金)
 主催 日立市コミュニティ推進協議会



「くさゼロ・フォトコンテスト」で奨励賞を受賞し日立市役所に展示された田尻川をきれいにする会の写真

ひたち・くさゼロ大作戦

日立市では、ごみのポイ捨て禁止と環境美化の意識向上を推進するため、9月30日を「くさゼロの日」とし、市民、企業、行政が一体となって「ひたち・くさゼロ大作戦」を実施した。

田尻学区では、田尻川をきれいにする会、田尻学区体育振興会、日立市道路里親団体などが参加し、環境美化に努めた。

今後の主な予定

- 12月3日(土) 青少年連絡協議会
- 12月11日(日) 茨城県議会議員選挙
- 12月17日(土) 交流センター大掃除
- 12月20日(火) 市報配布(新春号)
- 12月29日(木) 1月3日(火) 交流センター休館日
- 1月20日(金) 市報配布
- 1月31日(火) 広報紙「田尻」発行

体育振興会

三世代レクと健康の集い

10月16日、田尻小学校体育館で「ニュースポーツを体験して楽しみましよう」をスローガンに、三世代レクと健康の集いが行われた。今回は、自由参加とし、3人1組で「スピード玉入れ・オーバル



平均年齢89歳、まだまだ現役です

ボール・スカットボール・ポッチャーの四つのゲームを楽しんでもらおうと企画された。小学生から高齢者まで、初めての体験者も含め多くの参加者が、それぞれゲームを楽しんでいた。参加者にはゲーム終了時点で抽選があり、お米5kg入20袋の豪華商品を含め全員に参加賞が渡された。



子ども達もスカットボールを楽しむ

文化協会

田尻学区文化祭

10月22〜23日、交流センターで文化祭が行われた。今年は文化協会と利用者団体の共催で、折紙・川柳などの作品展や絵手紙教室が開かれた。

また、ミニコンサートも実施し、「琴の音会」の音色から始まり、琴の体験、「ハーモニカの会」、星野めぐみさん親子のピアノ演奏と続き、みなさんのハミングで賑やかな会場となった。文化祭に協力していただいた



田尻小6年生の作品

た方々のご努力で、無事終了出来たことに感謝したい。

自主防災防犯部

田尻学区自主防災訓練

11月6日、学区自主防災訓練を実施した。今年は、地震の揺れから身を守る「シェイクアウト訓練」のあと、一時避難場所を經由し田尻小学校まで周囲の安全を確認しながら避難する訓練を行った。



ダンボールの簡易ベッドを体験

らない。防災意識をもち災害から身を守る備えが出来るよう努めたい。

ふるさと再発見ウォーク

11月13日、「田尻学区のむかし巡りをしよう」をテーマに田尻宿近辺を散策しました。

最初に訪れたのは秋葉神社で、不動尊堂の不動明王立像を拝み、堂内に納められている大玉の数珠で「数珠繰り」を体験。次に訪れたのは栄蔵小屋の道標で、かつて田尻浜で栄蔵法師が修行したとされる。そこから上の代に行き、縄文時代の竪穴住居跡と発掘現場を



「数珠繰り」を体験

見学。最後に種殿神社で記念撮影をしました。皆さんも近所を散策しようか。(茅根奈穂子)

田沢消防所だより

～火の用心～

秋から冬にかけて、夏季に育った雑草が枯草にかわり、空地などに火災発生危険が潜んでいます。繁茂した草木だけではなく、燃えやすいものが放置されていないか、今一度確認し、適切な管理をお願いします。また、空気が乾燥する時期になりますので山林などの火災発生があるとともに、周辺住民の迷惑になるため屋外における焼却行為は絶対にしないようにしましょう。

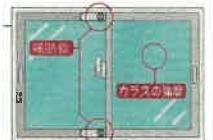


日高交番だより

住居侵入盗に注意

窓の約3割、出入口の約7割が無施錠の状態です。外出する際は、たとえ少しの間でも、確実に鍵を掛けましょう。また、在宅中も鍵を掛ける習慣を付けましょう。

泥棒は、侵入に時間がかかるのを嫌がります。窓ガラスには防犯フィルム、サッシには補助錠等の対策をしましょう。センサーライトや防犯カメラ、警報器等の防犯装置を活用しましょう。



日立警察署 TEL (22)-0110
日高交番 TEL (42)-0110

☆警察相談専用電話☆
#110 (24時間対応)

天神前むつみサロン

10月7日、天神前睦会集会所で、音楽を使って心と身体を楽しく動かすレクリエーションを提供する「ミュージック・ケアワーカー」の諸田なみ子さんを迎えて、天神前むつみサロンを行った。みなさん、幼少にかえり、童謡などの音楽に合わせて手足を動かし、楽しいサロンだった。



音楽に合わせて楽しく手足を動かす

さんあいコーナー



井坂光江さん
(赤羽支部)



小林和子さん
(下田尻支部)

ふくしのつどいで顕彰

11月22日、令和4年度「社会福祉協議会ふくしのつどい」が行われ、日立市社会福祉協議会会長顕彰で、田尻学区から小林和子さん、井坂光江さんが、長年の社会福祉活動により顕彰された。今後益々のご活躍が期待される。

あんしん・安全ネットワーク部

見守り活動

田尻学区では、民生委員と共に福祉協力員が、避難行動要支援者の見守り活動を行っています。お困りなことは、交流センターや地域の民生委員・児童委員にご相談ください。

避難行動要支援者とは？

東日本大震災の教訓として、障害者、高齢者、外国人、妊産婦等の方々について、情報提供、避難、避難生活等様々な場面で対応が不十分な場面があったことを受け、こうした方々に係る名簿の整備・活用を促進することが必要とされたことから、平成25年の災害対策基本法の改正により、災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害者等の避難行動要支援者について、避難行動要支援者名簿を作成することが市町村の義務とされました。

【避難行動要支援者名簿 登録要件】

- ①緊急通報システム利用者
- ②介護保険要介護3以上（要介護3・4・5）
- ③身体障害者手帳1・2級の交付を受けている方
- ④療育手帳 Aの交付を受けている方
- ⑤精神障害者福祉手帳1・2級の交付を受けている方
- ⑥65歳以上のひとり暮らしの方
(自力避難が困難な方)
- ⑦その他、自力避難が困難な方

ポケットくらぶ

ポケットくらぶは、未就園児を対象にした親子教室で、4月から12月までの第3木曜日に活動しています。今年度は、0才から2才までの10組の親子とスタッフ11人が在籍しています。

内容としては、講師を招いて、親子でのふれあい遊びやリトミック、クリスマス会などの季節ごとの行事を行ったり、(市)生活安全課による交通安全教室を開催するなど、親子で一緒に楽しい時間を



ハロウィンの手作りマントを着けて

を過ごしています。同世代の子を持つ親同士の交流の場として、今後も活動していきたい。

健康で人生100年
人生100年時代といわれる今、多くの高齢者は「丈夫な体を維持し健康で長生きしたい」と願う。10月から後期高齢者の医療負担金が1割から2割に引き上げられ、年金は下げられた。医療費や介護保険の支出も多くなり、家計が逼迫している▼2016年の「厚生労働白書」によると40歳代以上の74%が老後の不安として「健康上の問題」をあげていて、さらに、1ヶ月の平均的介護費用が約8万円と云われている▼まだまだ長い人生を楽しむには先ず健康が第一である。見直すべきは「疲れ」への対策だ。現代人は実に多様な「疲れ」に直面している。仕事や家事の疲れ、介護の疲れなど、なかでも注意したいのが年齢疲れである▼若い頃は感じない体のたるさや首、肩、腰の痛みなど年齢とともにさまざま不調のサインが現れる。たまには息抜きをと思おうが、外出自粛で巣ごもりが常態化している▼年齢疲れ対策は適度な運動と栄養バランスがとれた食事をし、十分な休養と睡眠が重要だという。少しでもこのように心掛け、元気で新年を迎えたい。
(藤田)

たじい 短信

田尻交流センターだより

コミ推・地区社協会長 大森健一さん死去



長年、田尻学区コミュニティ推進会会長、田尻地区社会福祉協議会会長としてご尽力された大森健一さん(74歳)

が10月15日永眠された。

大森さんは独自の決断力と実行力をもって、学区の事業・行事に積極的に取り組み、いかなるリーダーシップを発揮して地域を活性化させ、あんしん・安全で住みよいまちづくりの為に大いに貢献された。

3・11東日本大震災の時は、田尻小体育館や交流センターへ避難してきた住民に夜も寝ずに世話をするなど、多くのおみなさんから頼られる存在でもあった。それだけにこの度のご逝去は誠に惜しまれ、田尻学区としても貴重な人材を失い残念である。

今後は大森会長の遺志を受け継ぎ、残された者が力を合わせ学区の事業を継承していきたい。

会長代行には 木下さん就任

10月30日、臨時部会長会議が開催され、10月15日に亡くなられた大森健一さんの後任として、コミ推・地区社協会長代行に木下禎浩副会長が選考・承認された。

ICT活用による地域防災

スマホアプリを活用する防災講座が8月21日、交流センターで開かれた。専門の講師の他、現役高校生のサポートによりQRコードの開き方や、スマホアプリ操作の基本を学習した。

早く、正確に身近な情報を得て、全国の情報や、多角的な情報源と共有することで地域の防災力を高めようとの主旨だ。約20人の受講者は、スマホを人差し指でタッチしながら、真剣に学んだ。



スマホアプリ操作の基本を学ぶ

私の故郷紹介 ③1

(宮城県編)

「縦ノ木は残った」の町

宮城県南部にある柴田町。江戸時代の船岡盆地は白石川右岸に船岡城及び船岡城下町があり、今も定番の観光スポットとして「日本さくら名所100選の地」に選ばれた「白石川堤一目千本桜」がある。1200本の桜並木が続くお花見スポットで、みなさん感動する。また、大河ドラマ「縦ノ木は残った」の舞台となった船岡城址公園は、伊達政宗の家臣である主人公原田甲斐の居城で、今も縦の木が残っています。遊歩道やスロープカーがあり「一目千本桜」が一望

でき、頂上には平和観音がやさしい表情で遙か東の方向を見ていて、私達を穏やかな気持ちにさせてくれます。春にはたくさんのお花見客でにぎわう素朴で素敵な町です。

(下相田地区 大山)



船岡城址公園にそびえる縦ノ木

交流センター協力員募集

令和5年1月から勤務できる方を募集

【勤務内容】

交流センターの受付、一般事務(施設の維持管理含)及び各団体の事業支援など

【勤務時間】

一週間のうち3日程度勤務できる方

昼勤務:午前8時30分~午後5時

夜勤務:午後4時30分~午後9時

(5時間)

(4時間)

いずれも柔軟に対応可、要相談

【募集人員・応募資格】

昼、夜ともに若干名

原則として、田尻学区在住の70歳くらいまで、パソコンが出来、普通運転免許所持、健康で意欲がある方

【問い合わせ先】

- 田尻交流センター
- 住所 〒319-1416
- 日立市田尻町1-350-1
- 電話 (42) 15522

編集後記

病床にありながらも、大森会長は、亡くなる数日前まで、田尻学区や交流センターのために心を砕いておられました。この「田尻」第19号も、会長のアイデアが随所に散りばめられています。会長のご冥福をお祈りします。